

平成27年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

東日本大震災をきっかけに始まった当協会の社会貢献活動は、今年度に入り6年目を迎えます。

当初、「次世代支援」を目的として始まったこの活動は、当協会が会員会社よりリース終了パソコンの提供を受け、整備及びソフトウェアの搭載等を行った上で、被災3県の自治体、公民館・美術館・博物館等の公的機関、高等学校・小中学校・特別支援学校等の教育機関及び学校図書館等へ寄贈する活動を行ってきました。

その後、より多くの方々を支援できるよう、被災3県で教育支援・地域振興・社会福祉に

関する活動を行う非営利法人に対してリース終了パソコンを寄贈する活動へと広がりました。

平成27年度は160台の寄贈を行い（表1）、平成27年度末までに累計で1,312台のリース終了パソコンを各地でご利用いただいています。

また、「私たちでもできること」を探し、特別支援学校における就労移行支援活動・作業学習用教材の提供活動も加わりました。会員会社からの提案・協力もあり、これらの活動は少しずつ広がりを見せています。

本稿では平成27年度の社会貢献活動についてのご報告と平成28年度の活動計画をご紹介します。

表1 平成27年度リース終了パソコン寄贈・貸与実績一覧

	寄贈・貸与先	寄贈台数
東日本大震災関連	26	114台
うち復興庁・被災者支援コーディネート事業	15	49台
教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人	8	25台
工業高等学校	3	40台
災害時緊急支援	3	10台
特別支援学校	18	36台
総計	47	160台

1. 東日本大震災復興支援活動

〔対象：被災3県（岩手県・宮城県・福島県）〕

- ①復興庁・被災者支援コーディネート事業を通じたリース終了パソコンの寄贈
復興庁では、東日本大震災の被災者の避難

生活の長期化・分散化などによる課題に対応するため、「被災者支援（健康・生活支援）総合対策」を策定し、これに基づき、「被災者支援コーディネート事業」が開始されました。「被災者支援コーディネート事業」では企業の社会貢献活動と被災自治体（自治体の

活動に協力する非営利法人を含む)の意向のマッチングが行われています。

当協会は、この事業を通じて、東日本大震災の被災地域で教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人の紹介を受けました。リース終了パソコンの寄贈を希望する非営利法人より、法人に関する資料等をいただき、リース終了パソコンの活用目的・方法等を確認・審査を行った上で、15法人へ49台のリース終了パソコンを寄贈しました* (表2)。

震災から5年が経過し、被災地域が必要と

〈コミュニティカフェに設置されたリース終了パソコン〉



する支援の形も変化しています。

仮設住宅から災害復興公営住宅等への転居が進んだことにより、近隣のコミュニティを再構築しなければならない、あるいは、震災の影響で心のケアが必要となっている方々がいる等の状況を寄贈先から伺っています。

被災地域で活動する非営利法人では、被災された方々へ様々な支援プランを用意しており、非営利法人における事務処理以外にも、地域のコミュニティカフェやパソコン教室等でリース終了パソコンが利用されています。

〈事務所で利用されているリース終了パソコン〉



表2 寄贈先法人一覧

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人しんせい	福島県郡山市	3台
2	特定非営利活動法人青空保育たけの子	福島県福島市	2台
3	特定非営利活動法人ザ・ピープル	福島県いわき市	2台
4	一般社団法人ならはみらい	福島県楡葉町	5台
5	公益社団法人みらいサポート石巻	宮城県石巻市	7台
6	特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ	福島県福島市	5台
7	一般社団法人マザー・ウィング	宮城県仙台市	1台
8	特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋	岩手県花巻市	1台
9	特定非営利活動法人キッズドア	宮城県仙台市	2台
10	特定非営利活動法人みやこラボ	岩手県宮古市	1台
11	特定非営利活動法人フードバンク岩手	岩手県盛岡市	3台
12	特定非営利活動法人かだっべし	岩手県釜石市	3台
13	特定非営利活動法人立ち上がるぞ!宮古市田老	岩手県宮古市	1台
14	特定非営利活動法人まちづくり・ぐるっとおおつち	岩手県大槌町	3台
15	認定特定非営利活動法人Switch	宮城県仙台市	10台

②教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人へのリース終了パソコンの寄贈

公益財団法人ヤマト福祉財団は、障がい者の経済的自立を支援するために、障がい者の給料を増額した団体等へ助成を行っています。当協会は、同財団の事業活動に賛同し、同財団の助成先において、リース終了パソコンをご活用いただくことにより、障がい者の就労環境の更なる改善及び事務の効率化など

の点で貢献ができると考え、同財団のご了解をいただき、東日本大震災以降に被災3県で同財団の助成を受けた非営利法人宛てにリース終了パソコン寄贈のご案内をお送りしました。

リース終了パソコンを希望する非営利法人より、法人に関する資料等をいただき、リース終了パソコンの活用目的・方法等を確認・審査を行った上で、8法人へ25台のリース終了パソコンを寄贈しました*（表3）。

表3 寄贈先法人一覧

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人ピーターバンネットワーク 共働作業所ピーターバン	福島県会津美里町	4台
2	特定非営利活動法人SWELL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市	1台
3	特定非営利活動法人ポネール	福島県伊達市	4台
4	社会福祉法人野田村保育所	岩手県野田村	1台
5	社会福祉法人 優樹福祉会 地域生活サポートセンター フラット白河	福島県白河市	5台
6	特定非営利活動法人きらら女川	宮城県女川町	2台
7	社会福祉法人太陽の丘福祉会 仙台ローズガーデン	宮城県仙台市	1台
8	特定非営利活動法人コスモスクラブ	宮城県仙台市	7台

③工業高等学校へのリース終了パソコンの寄贈

被災3県の公的教育機関へのリース終了パソコン寄贈活動を行う中で、被災地の工業高等学校より分解・組立用のパソコンが古く、リース終了パソコンを活用したい旨のご要望

がありました。

これを実現するために、被災3県で「ものづくり」の基礎教育を支援する活動として、分解・組立用のリース終了パソコンを寄贈しました。

被災3県の工業高等学校宛てに、実習用パ

〈実習で利用されているリース終了パソコン〉



ソコン寄贈のご案内を行い、応募のあった3校に対し分解・組立実習用、プログラミング演習用パソコンとして、リース終了パソコン（デスクトップ型・ノート型）40台を寄贈しました。

2. 災害時緊急支援活動

[対象：台風18号による被災地域]

平成27年9月の災害発生直後から、社会福祉法人中央共同募金会及び日本マイクロソフト株式会社と連携し、ボランティアセンターを運営する非営利法人の紹介を受け、3法人へ合計10台のリース終了パソコンを無償貸与しました*（表4）。

その後、引き続きパソコンを利用される意向のあった1法人については貸与パソコン3台を寄贈しました。2法人7台については、貸与パソコンが平成28年1月末までに返却されましたので、今後、自然災害が発生した際に、迅速に被災地でご活用いただくため、社会福祉法人中央共同募金会へ寄贈しました。

日本各地では、自然災害による被害が広がっています。当協会では、災害発生時に被災地においてリース終了パソコンを迅速にご利用いただけるよう、今後も引き続き準備を進めてまいります。

表4 無償貸与先

貸与先団体	貸与台数
社会福祉法人常総市社会福祉協議会	2台
社会福祉法人日光市社会福祉協議会	5台
認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・ commons	3台

3. 特別支援学校に対する支援活動

①各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 [対象：全国]

生徒数の増加や教職員の増員及びパソコン

の経年劣化等の理由でリース終了パソコンのニーズは依然としてあります。

全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率（文部科学省学校基本調査）等を勘案し、平成27年度は鹿児島県・栃木県・山形県・奈良県の18校に合計36台のリース終了パソコンを寄贈しました*。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 [対象：全国]

平成27年度より、会員会社の社名変更・本社移転により、修正が必要となる封筒及び不要となる封筒を、提供する会員会社の所在する都道府県の特別支援学校へ提供する活動を始めました。

提供された封筒は特別支援学校の作業学習の中で、ラベル貼付・封入・封緘・押印の練習をするだけでなく、再生封筒を作成する等でご利用いただいています。再生封筒を作成する作業の中では、障がいの重い生徒が装飾用シール等を作成し、再生封筒は障がいの軽い生徒が作成する等、障がいの程度に関わらず幅広い生徒が参加することができる作業であるのご意見をいただいています。

また封筒へ修正シールを貼付する作業を依頼した会員会社からは、「活動の目的に賛同された取引先の印刷会社が、修正シールを無償で提供してくださいました。」とのお知らせも寄せられました。

この他、会員会社の申し出を受けて、会員会社での作業（会社備品への管理シール貼り）や、会社説明パンフレットに修正シールを貼付する作業を特別支援学校に取り次ぎました。

東京都の2校のご希望により、協会事務局からも、ピッキング練習用の月刊リース、メモ帳を作成する際に表紙として使用する冊子の色厚紙、シュレッター作業用の裏紙、使用

済み切手等の提供をしました。

この活動では、12社の会員会社に協力をい

ただき、9校の特別支援学校に対し、作業学習用教材を提供しています（表5）。

表5 作業学習用教材の提供活動

教材内容	提供先
封筒提供：総計20,600枚	東京都 6校
	静岡県 1校
	滋賀県 1校
封筒への修正シール貼付作業	札幌市 1校
備品管理シール貼付作業 会社案内修正シール貼付 作業（当協会からの紹介）	東京都 1校

〈再生封筒の作成〉



〈作業学習用教材の利用例〉



③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都]

平成26年度から始まった東京都立港特別支援学校の作業学習に協力する活動を平成27年度も継続して行いました。

平成28年3月には2年間にわたり、協会事務局の発送作業を行った3年生の生徒が卒業されました。2年生の時に初めて協会事務局の作業学習に携わったときは、緊張感の中での慣れない作業・普段接していない事務局職員との対話もあり、少しぎこちなさもあった生徒も、2年間作業学習に携わったことで、作業をスピーディーかつ正確に行い、3年生として2年生を的確に指導できるほど、目覚

ましい成長をされました。

作業学習の中では、仕事をする上で大切なビジネスマナーを作業学習の開始前に毎回説明し、生徒からの積極的な発言を促すとともに、就業時に必要となるメモをとる練習を行いました。この練習の成果により、メモをとることが上達し、こうした反復練習の大切さを感じました。

年間6回実施された作業学習（表6）の最終回は、昨年同様、当協会の大会議室で行われ、協会事務局の作業をお手伝いいただいた御礼として、作業学習終了後に生徒に感謝状を贈呈しました。

〈リース事業協会での作業学習の様子〉

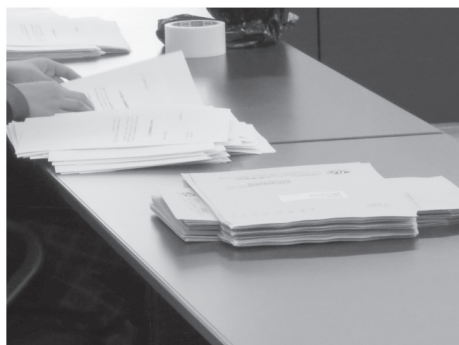


表6 平成27年度の作業学習内容

作業学習教材	作業学習内容	作業学習成果
会員会社宛の郵便物の発送業務	<ul style="list-style-type: none"> ・別納印、学校印（港特別支援学校の生徒が発送作業に携わった旨の表示）の押印 ・封筒への宛名ラベル貼付 ・封入物の丁合、封入、封緘 ・発送数の確認 	地区代表者会議・実務者会議の案内状、割賦・延払等統計調査表（平成27年度上期分）、リース年次統計調査表（平成27年度分）合計864通
月刊リース平成27年5月号の発送業務	同上	社会貢献活動にご協力いただいた関係先への発送分 160通
パンフレットの修正シール貼付作業	・修正の必要があるパンフレットについて修正シールを貼付	1,000部

*作業学習は、港特別支援学校のオフィスサービスコースの生徒10名が参加しました。

4. 平成28年度の活動計画

平成28年度の社会貢献活動では、以下の3項目の活動を計画しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコン及び作業学習用教材については、会員会社から募集します。

①東日本大震災等の自然災害の被災地に対する支援活動

自然災害の被災地では、年月が過ぎるごとに被災地域で必要とされる支援が変化していきます。

東日本大震災の被災地では、今後、コミュニティの再構築、心のケア、生活の立て直しのためのスキルアップ等、また、被災者を支える非営利法人の事務の効率化を支援する等、直接的・間接的にリース終了パソコンの活用範囲がさらに増えることが予想されます。引き続き、復興庁「被災者支援コーディネート事業」を通じてリース終了パソコンの寄贈活動を行うとともに、被災3県において教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人に対するリース終了パソコン寄贈活動を行います。[対象：岩手県・宮城県・福島県]

また、自然災害の被災地における緊急支援用リース終了パソコンの寄贈・無償貸与活動及び被災地において復旧・復興活動を行う非営利法人に対しリース終了パソコン等を寄贈する活動を行います。[対象：全国*]

*平成28年5月現在、熊本地震に関する支援活動を実施中。

②特別支援学校に対する支援活動

パソコン整備率等を勧案し、特別支援学校（2～3都道府県）に対するリース終了パソコンの寄贈活動及び会員会社から提供される作業学習用教材を提供する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校における就労移行支援活動についても、新たな要素を取り入れながら、引き続き作業学習へ協力する活動を行います。[対象：東京都]

③社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動

平成28年度からは、各地で社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対し、その活動を支援するためにリース終了パソコンを寄贈する活動を始めます。[対象：全国]

さいごに

東日本大震災あるいは自然災害で被災された地域及び各地の特別支援学校でリース終了

パソコンが様々な形で活用されています。

また、会員会社から提供された封筒は特別支援学校での作業学習において多くの生徒の学習教材として有効利用されています。

当協会では、これらの活動を通じ、様々な企業・団体等との関係を築き、また、会員会社と地域の特別支援学校を相互に繋げることで社会に貢献することを目指しています。

最後になりましたが、リース終了パソコンの寄贈活動及び作業学習用教材の提供活動は、会員会社を含めた、沢山の方々のご協力のもとに成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

11頁からの別添資料では、リース終了パソコンを寄贈した非営利法人・教育機関からいただいたお声を紹介しております。リース終了パソコンがお役に立っている様子が見えそうですので是非ご一読ください。

※リース終了パソコンの寄贈活動（工業高等学校への寄贈活動を除く）に際しては、日本マイクロソフト株式会社のシチズンシップライセンスを活用させていただきました。（Windows 7：すべての寄贈先へ搭載。Office 2010：特別支援学校を除く寄贈先へ搭載。）

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①被災3県の公的教育機関への寄贈 865台				
②被災3県の学校図書館への寄贈 182台				
③各地の特別支援学校への寄贈 141台				
④被災3県で活動をする非営利法人への寄贈 74台				
⑤災害支援における非営利法人への寄贈・無償貸与 10台				
⑥被災3県の工業高等学校への寄贈 40台				

〈リース終了パソコンの寄贈・貸与実績（累計）〉

寄贈先所在地		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	累計
東北	青森県	—	—	—	6台	—	6台
	岩手県	43台	45台	11台	35台	23台	157台
	宮城県	139台	195台	31台	7台	38台	410台
	福島県	342台	138台	53台	26台	53台	612台
	山形県	—	—	—	—	12台	12台
関東・甲信越	茨城県	—	—	37台	—	5台	42台
	栃木県	—	—	—	—	11台	11台
	長野県	—	—	—	20台	—	20台
近畿・中国・九州	奈良県	—	—	—	—	12台	12台
	広島県	—	—	—	6台	—	6台
	福岡県	—	—	—	18台	—	18台
	鹿児島県	—	—	—	—	6台	6台
合計		524台	378台	132台	118台	160台	1,312台

※寄贈台数には故障などによる代替機の提供数を除いています。

※平成27年度は、工業高等学校向けの分解・組立実習用、プログラミング演習用パソコンを含みます。

〈物件シール〉

公益社団法人リース事業協会 寄贈品

転売・第三者への譲渡を禁止します
関係法令を遵守のうえ、ご使用ください
火災事故等を防止するために、ご使用後は
コンセントから外してください



資産管理番号：

多くの寄贈先にリース終了パソコンを適正かつ安全にご利用いただくため、ご使用上の注意事項等をお知らせすることを目的とし、平成27年度より、寄贈・貸与するリース終了パソコンへ貼付しています。

〈リース終了パソコンを提供した会員会社（平成27年度）〉

[正会員：12社]

三菱UFJリース(株)／三井住友ファイナンス&リース(株)／東京センチュリーリース(株)／JA三井リース(株)／芙蓉総合リース(株)／日立キャピタル(株)／オリックス(株)／日通商事(株)／IBJL東芝リース(株)／興銀リース(株)／昭和リース(株)／東京TYリース(株)

〈作業学習用教材を提供した会員会社（平成27年度）〉

[正会員：8社]

東京TYリース(株)／SFIリーシング(株)／JA三井リース(株)／しがぎんリース・キャピタル(株)／東銀リース(株)／富士通リース(株)／日立キャピタル(株)／中道リース(株)*

[賛助会員：4社]

(株)札幌北洋リース／AJCC(株)／清水リース&カード(株)／ひがしんリース(株)

※本活動を円滑に実施するため、同社から自治体の教育委員会担当部門の紹介を受けました。

当協会では、平成28年度の社会貢献活動を実施するために、リース終了パソコンと作業学習用教材を会員会社から募集しています。詳細は会員専用ホームページJLA-Net General掲示板「社会貢献活動」をご参照いただくか、協会事務局までお問い合わせください。

(別添)

寄贈パソコンの活用方法など

*寄贈パソコン応募時に各法人・教育機関からいただいた情報および寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

【被災者支援コーディネーター事業関係】

(岩手県)

パソコンの状況・使用目的	今後の課題・パソコンを利用した今後の活動計画等	その他
<p>釜石ママハウスでの日常業務で使用。通信の発行、HPの更新、各機関等とのメールの送受信での情報交換、各種講座等のチラシ作成他。</p>	<p>被災地(釜石)のママと子の笑顔を拓くため、ママのエンパワメント。待機児解消のための保育の事業継続及び女性相談活動等の展開を継続実施。課題としては、本部機能の強化である。企画・会計・渉外等の人材発掘、育成及び活動の継続の為、財源強化も課題である。</p>	<p>この度のご配慮、誠にありがとうございます。このところ、PCは担当者に1台でないで業務に不都合が多くて困っていました。有難うございます。</p>
	<p>予定①コミュニティカフェでの活用。復興住宅の住民等も気軽に来てもらえるコミュニティカフェを運営中。小さなパソコン講座などPCを活用した交流の場づくりに利用する。 ②中間支援での活用。コミュニティカフェを拠点として、復興支援に関する民間でのコーディネーターを継続する。今後、支援員を採用した時に業務に活用。NPO間のネットワークの強化。組織基盤の強化。自立的な資金の仕組みづくり(復興支援金が減少するため)。裏方としてのNPOなので、地域により深く理解を求めていきたい。</p>	<p>パソコンのご寄贈大変ありがとうございます。宮古地域の復興や地域づくり活動に活用させていただきます。</p>
	<p>メールを使用した食料品のオーダーの受付。食料品の在庫管理。当団体の経理。広報活動の版下作成。マニュアルの作成。集会でのプレゼンテーション。困窮者が必要とする食料を、特におかず類を確保すること。およびこの活動がより多くの市民が参加できるように、財政基盤を広げること。公的制度として食料支援を制度化すること。</p>	<p>パソコン3台寄贈！本当にありがとうございます。被災された方々への支援活動をより潤滑に行うよう活用させていただきます。震災から6年目をむかえ、被災された方々はもちろん、支援者にも疲労が見えているなかで、このように支援団体へのご支援は私たちに再度「チカラ」を与えてくれます。今後とも東日本大震災で被災された方々や支援団体を応援していただけますと幸いです。</p>
<p>被災地や釜石圏域で常設交流場(開放施設)における住民対象でのものづくり活動や、パソコン教室を通じた地域の方々への交流の場の提供。ひきこもりがちだったり、仕事に定着しにくい生活保護・生活困窮・その予備群的な方々や、若年者のひきこもり等との関わりも多くなってきており、そのような方々の就労支援を含めた受け入れ。</p>	<p>法人の地域での支援活動等において、ひきこもりがちな若年者・障がいをもたれた方なども多く、施設内でのパソコン教室等のパソコン利用機会を提供する。</p>	<p>今回のパソコン寄贈につきまして、大変感謝いたします。パソコン到着、楽しみに待っております。色々なご好意に感謝いたします。</p>

パソコンの状況・使用目的	今後の課題・パソコンを利用した今後の活動計画等	その他
<p>会計業務は委託しているため、自力で処理できるようにスキルアップを図り、委託料を活動資金に充て、これからのまちづくりのソフト事業に充てていきたい。</p>	<p>甚大な被害を受けた岩手県宮古市田老のまちづくり支援のため、被災した住民が中心になってまちの復興と市民の生活再建・自立に関する支援事業をおこなっている。さらに観光事業等の取り組みによる地域力醸成に仕組みコミュニティ、地域防災力強化に繋げることを目標に活動している。パソコンは会計業務専用として研修等へ持参できるようにして会計業務のスキルアップを図る。</p>	<p>この度は、パソコンをお送りいただきましてありがとうございました。大事に使わせていただきたいと思います。</p>
<p>町の事業委託を受けて活動しており、報告・情報等全部パソコンで業務把握しており、今年度で活動のリース期間が切れるため。そのデータの保管等今後の活動にパソコンが必要不可欠なので是非寄贈をお願い致したいと思い、寄贈の申請をした。</p>	<p>現在被災者支援の事業として手づくり品の販売を支援しているが、販路拡大が課題となっている。それを将来的にネット販売などITの活用で情報発信を拡大する計画を推進している。</p>	<p>パソコンが届きました。この度はありがとうございました。活用させていただきたいと思います。</p>
<p>4年前に寄贈いただいたパソコンを使用。故障も多く、動作が遅いため業務に支障がある。 東日本大震災で甚大な被害のあった石巻市にて、震災伝承プログラムの受入調整、スケジュール管理、ホームページの更新、フェイスブックの投稿、Eメール、社内LANを使用したファイル共有など。津波による被害状況や石巻の「現在・過去・未来」を伝えるためのタブレット端末・スマートフォン向けアプリ「石巻津波伝承AR」のコンテンツ更新。</p>	<p>「石巻津波伝承AR」アプリに石巻市中心部以外の地域、東松島市、女川町の地点追加。マルチコプター（ドローン）で撮影した石巻地域の空撮動画制作・発信。</p>	<p>この度、弊社にパソコンを寄贈していただけるとのことで、心から感謝申し上げます。寄贈いただくパソコンは、天からの恵みのようで、本当に助かります。弊社の活動をご理解いただいていることに深く感謝いたします。また、寄贈いただいた皆様に対しまして、心よりお礼申し上げます。スタッフ一同、パソコンが届くのをすごく楽しみにしております。頂戴しましたパソコンは、大切に使用させていただきます。合わせて、今後も、被災地において必要とされる活動を、進めて参りますので、今後もお力添えのほどよろしくお願いいたします。</p>

(宮城県)

パソコンの状況・使用目的	今後の課題・パソコンを利用した今後の活動計画等	その他
<p>宮城県仙台市で、震災後心のケアが必要となっている乳幼児親子の支援活動を実施。月5回程度の活動を広報・告知するために、HP作成、チラシ作成、事務作業のためのパソコンとして使用する。</p>	<p>活動は4年目に入り、継続的な支援の必要性を感じている。今後は行政の通常の支援の中に心のケア事業を入れていただけるように働きかけていく。</p>	
	<p>パソコンを使用した授業の実施（例：ITプログラミング教室）</p>	<p>この度のPCの寄贈、誠にありがとうございます。子供たちの学習会などで大事に使わせていただきます。</p>

パソコンの状況・使用目的	今後の課題・パソコンを利用した今後の活動計画等	その他
こころの不調を抱えた若年者が社会との接点を持つためにパソコン講座を週に2回開催。個別カウンセリングでスムーズな就労移行を目指す。PC講座を実施することで、ひきこもり状態から脱し、通所できるケースが多く、被災地である石巻の地域課題解決のためにも維持していきたいと考える。その上でもパソコン老朽化により、高スペックのパソコンが必要となったため寄贈の申請をした。	今後は修得したパソコンスキルを活かす場としての職場実習の機会を増やすとともに、事務系一般就労への道筋をつくる。また、地域の事務補助が必要な企業との連携を取り、テレワークが可能な体制の構築を模索し、震災によりハンデを負った方々に対してスムーズな就労機会の創出を目指す。	今回はリースPCの寄贈、ありがとうございます。被災地の若者のITスキル向上のために大切にに使わせていただきます。

(福島県)

パソコンの状況・使用目的	今後の課題・パソコンを利用した今後の活動計画等	その他
利用者が使用できるパソコンはない。11月末オープン予定の物販の管理・販売用。ギャラリー2階でデータ入力。交流室1階で発送用ラベル作り。		
事務処理と会計にそれぞれ個人のパソコンを使用している。 主に事務処理（毎月のお便り等、申請書、報告書作成等）、会計処理（会計ソフトへの入力）。	現在、個人のパソコンを使用しているため、データを一括管理することができない。団体に事務処理と会計処理用にふたつのパソコンを置くことで、引き継ぎなどがスムーズに行われ、データの保存も確実に行われるようになる。そのことによって、業務時間を短縮でき、子どもに関わる時間が増えると思われる。原発事故による放射能汚染の問題は未だ先の見えない課題である。当団体は県をまたいで活動を行っているために、行政より直接支援を受けることは難しいのが現状で、活動を継続するために、長期的な資金の獲得は大きな課題である。	わたしたちが米沢で活動することで、放射能を気にすることなく、子どもたちが遊べる環境を今後も作っていかれると思っています。今後は冒険遊び場、農業体験に力をいれていきます。パソコン2台！たいへん助かります。ご厚意大切にに使わせていただきます。
デスクトップ型で大きく、モニターが古く見えづらくなっている。動作が極端に遅くなることもあり、修理を検討していた。ノートブック型で、個人所有のものだが、使用中に文字の変換ができなくなる等の不具合が生じている。 ボランティアセンター・事務局で事務処理。活動の情報発信や外部団体との連絡、チラシ等の作成、会計管理。スタッフ使用として、各種申請書類作成や情報発信、外部団体との連絡、請求書・スケジュール表の作成。	パソコンをより効果的に活用するための人材育成、スキルアップ（課題）。 パソコンでの作業の効率化により、現場の業務により注力できる。ホームページやSNSでの情報発信の頻度を多くして、活動への協力者、リピーターを1割程度増やしていきたい。	貴協会よりのパソコンのご提供については、大変ありがたく有効活用させていただいております。改めて心より御礼申し上げます。
事務局スタッフやボランティアと一緒に作業を行う際、パソコンが4～5台足りない状況にある。 福島県及び隣縣市町村の復興支援活動団体の活動状況調査、データベース更新等。福島県各地域の被災前後の映像記録の調査、データベース構築等。当法人HPのリニューアル。	【今後の課題】活動計画に関わる人材の恒久的な確保。自主事業の基盤整備（寄付商品の開発、収益が見込めるプロジェクトの実施等）。 【将来的な計画】ボランティア・NPO活動を志す市民に対するインキュベーション的なサービス（ハード&ソフト）の提供。地域活動団体に向けた総合的なスキルアップの支援。	お志に添えるよう、十分に活用させていただきたいと存じます。頂戴したパソコンは、日々の業務に存分に活用させていただいております。改めて御礼申し上げます。

パソコンの状況・使用目的	今後の課題・パソコンを利用した今後の活動計画等	その他
仮設住宅連絡員の情報共有や連絡事項などへの活用。	現在、仮設住宅の連絡員を雇用して、仮設に住む方の安否確認やニーズ聞きなどの業務を行っており、各仮設住宅の情報共有や連絡事項などパソコンを活用してスムーズな業務を行っていきたい。	榑葉町は平成27年9月5日に避難指示が解除されたが、放射線に対する不安が依然払しょくされず、どの程度の町民が帰町するかが今後の課題となっています。この度は大変ありがとうございました。

【被災3県に所在する非営利法人】
(岩手県)

パソコンの状況	使用の目的	今後の活動計画・その他
	文書の作成や研修等への参加申し込み、家族への配布物等の作成。	保育所で撮影した写真を取り込み印刷して展示し、子ども達の活動の様子を保護者に周知する。

(宮城県)

パソコンの状況	使用の目的	今後の活動計画・その他
寄贈いただいたパソコン2台を所有しているが、バッテリーの充電が出来ず、常時コンセントに差し込まないと作動しない状況にある。この2台のパソコンを使って事務、経理、各種報告書類、チラシ、POP作成を行っている。かりんとうやパンのラベル作成もパソコンを使用しているが、データ送信に時間がかかり経理・事務処理に支障をきたしている。	27年12月に女川駅前新店舗を開店する予定となっており、新店舗で使用するパソコンを必要としている。新店舗での売上管理・メールでの送受信・チラシ作成はできれば今の使用しているものと違う新しいパソコンで行いたいと考えているが、新店舗開店するために多額の資金が必要となる為、パソコンを寄贈いただけるととても助かる。	<p>今後は店舗での売上管理・POP作成・店舗間でのメール送受信・チラシ作成等をパソコンで行い、新店舗の売上向上の為の活動を行い、利用者の工賃向上目標を現在の工賃+3000円を達成する為に、使用できればと考えている。利用者工賃目標である月5万円に向けて営業活動を行い、取引先の新規開拓に注力したいと考えている。</p> <p>東日本大震災で全て失い、みなさまのご協力で2年後に工場再建する事が出来た。少しずつではあるが取引先も増え、利用者の工賃も月平均3万円を達成する事が出来た。昨年からは水産加工も開始し、今年の年末に新店舗にて軽食・ランチを提供し、商品管理も今以上に増加すると思われる。また、新店舗にてパン・かりんとう・水産加工品を販売し、売上増加を目指し、営業活動をもっと増やし、利用者工賃増加に努めていきたい。</p>
	会計事務。ケース記録の作成など利用者の支援に利用。	このたびは、パソコンの寄贈ありがとうございました。
数年前にパソコンの寄付を受けたが、Windows XPのパソコンで、それも少しずつ動かなくなっていて、職員が仕事で使用するには台数が不足している状況にある。	事業所で利用者のスケジュールやお知らせ、お便りを作成する為にパソコンを利用したい。	<p>新しいパソコンで、より充実したお便りを作り、利用者と保護者の皆様に活動を伝えていきたい。</p> <p>パソコンはすぐに次のものが出てきて、Windowsやソフトも使えなくなってしまうことが多い。その都度最新にしていくにはとても費用がかかる。今後ともこのような支援をいただけるととても助かります。この度のパソコン寄附誠にありがとうございます。職員一同心待ちにしております。大切にさせていただきます。</p>

(福島県)

パソコンの状況	使用の目的	今後の活動計画・その他
<p>職員が利用者の支援計画を立てたり、記録の管理など、事務作業の90%以上はパソコンを利用し、日々の業務、運営に欠かせないものとなっている。</p>	<p>当事業所を利用する障がい者の方の多くは、まず、パソコンに触る機会がない。寄贈いただくパソコンは利用者の集う休憩室に設置し、インターネットなどを体験できる環境を整え、利用者に活用していただく。</p>	<p>特に一般就労を目指している利用者向けにパソコン教室を開催し、簡単なエクセル・ワードの技術を習得していただき、一般就労への道すじを強いものにしていければと考えている。</p> <p>この度は貴重なパソコンを御寄贈いただき、ありがとうございます。将来的には、利用者 に事務を任せられるようなスキルを身につけられるような支援をしていきたいと思 います。心より感謝申し上げます。パソコンをいただけるのと ことで、特に利用者の皆さんは嬉し くて、待ちきれない様子でした。今後は、頂 いたパソコンを有効に活用し、事業計画に沿 って活用させていただきます。無事パソコンが 届きました。早速本日、それぞれ立上げ作動 してみました。利用者の皆さんもとても喜ん で、お昼休みには、早速インターネットで検 索などしていました。今後も、障がい者のス キルアップや、余暇活動として有効活用させ ていただきます。</p>
	<p>事務局…国保連への請求や会計、公的機関などとのメールのやりとり等。事業所…公的機関などとのメールのやりとりや利用者の方々やその家族への文章作成。売上や工賃の管理等。</p>	<p>商品の管理、商品のラベル作成（法人独自によるデザイン作成）。</p>
<p>パソコンの台数が職員の人数に対して不足し、事務作業の際にパソコンを貸し合いながら使っているため、場合によってはスムーズに事務作業が行えない状況である。また、メンバーがインターネットを利用するために使用していたパソコンも昨年壊れてしまった。</p>	<p>施設外就労の記録、現金出納帳の記録、相談記録等の事務全般。メンバーのインターネット利用等。</p>	<p>現在少しずつであるが食堂の売上記録もメンバー自身がパソコンを使って入力する機会もでてきているので今後はより多くのメンバーがパソコン操作を行えるようなパソコン講座等もフリータイムを利用して行っていきたい。</p>
<p>職員10名に対し、パソコンの台数が5台で、事務に数台使用するため、複数の職員が交代で使用している。また、ノート型パソコンが1台もなく、現場で使用するパソコンが足りず、現場にいるべき職員が事務所に流れるという悪循環が生じている。</p>	<p>書類作成、パン販売促進、POP作成、売上データ管理、ケース記録入力。</p>	<p>パンの売上管理や発注・受注データの管理。パンのPOP作成。また、ノート型パソコンは持ち運びが可能なので、現場にいる利用者へのパソコン使用方法の指導も可能になると考えている。</p> <p>お陰様で職員と利用者ともに届いたパソコンを見て大変喜んでるところです。今後も地域福祉の重責を担う役割を自覚し、職員、利用者一同、皆様から愛される事業所づくりに励んで参る所存です。</p>

【被災3県に所在する工業高等学校】

県	パソコンの状況	使用の目的	その他
岩手県	15年程前のPCを使用。古くなってきたため、故障などで使えなくなっている。	情報実習用、NC加工実習用として使用。	
宮城県	2007年に購入したものを使用している。	電子機械実習の項目の一つとして3年次を対象にパソコン組み立て実習を行っている。1・2年次でソフトウェアについての実習を行い、2年次の座学で情報技術基礎を学んでいる。それらの学習のまとめとしてハードウェア装置の学習も兼ね、パソコンの分解・組立実習を行っている。	予算的に厳しく、古い機器を使用して実習を行っているので無償寄贈は非常に助かります。
福島県 (デスクトップパソコン・電子科)	10年以上前に購入しており、だいぶ古くなってきている。ディスプレイは3台故障中。OSはWindows XPをいまだ使用しており、インターネット回線を使用することができない(マザーボードのスペックがXPまでしか対応していない為)。	パソコン組み立て実習：パソコンのハード的な構成を学習し、実際に組立作業を通しパソコンの構成要素を学び取る。組立てたパソコンでいろいろなOSを起動してOSの違いを実体験する。Windows XPをインストールし、フォーマット作業やOSインストール方法を修得する。インターネット回線・校内LANに接続し、ネットワーク構築及び設定方法について学習する。	本校、電子科にてパソコンの分解組み立て、OSインストール、ネットワーク設定等を実習で実施している。さらに環境構築後PIC制御によるプログラミング実習も行っている。 平成24年4月にリース事業協会様より寄贈していただいたパソコン5台は、現在OSをXPよりWindows 7にアップグレードし使用しています。今回の件を含め、復興支援並びに本校支援に多大なるご配慮をいただき誠に感謝申し上げます。本日、パソコンが到着しました。今回は、いろいろとご配慮いただき大変感謝しております。ありがとうございました。
福島県 (ノートパソコン・機械科)	現在、制御実習に使用しているパソコンは、デスクトップ型が3台だけで10人1グループでの授業では、3人ずつしかプログラミングを行うことができない。現在使用のプログラマブルコントローラが20年前の旧型のため、現在新しいものを5台準備中である。ただし、プログラミング用パソコンは予算がつかず購入できない状態であった。古い3台のデスクトップパソコンを使い続けなければならなかった。	制御プログラミング実習：(1) リレーシーケンス制御リレー、タイマ、スイッチの実配線を行い、制御回路の仕組みを学習する。(2) プログラマブルコントローラによるシーケンス制御プログラミング演習としてラダープログラムを作成しプログラマブルコントローラでの取り扱いの基本とシーケンス制御を学習する。	機械科、制御実習のプログラミング演習で使わせていただきたいと思います。現在、古いデスクトップPCが3台しかなかったため、大変助かります。

【緊急災害支援関係】

北関東・東北豪雨に関連する活動内容	パソコンの状況・使用目的	その他
<p>活用内容：常総市災害ボランティアセンター運営に関するデータ入力。</p>		<p>早急にパソコンを数台確保が必要な時に迅速に無償貸与いただき本当に感謝しております。今後も災害発生時に災害ボランティアセンターを運営する際はパソコン数台が必須となりますので、今後もこのような無償貸与のシステムを活用できれば幸いです。本当にありがとうございました。</p>
		<p>災害発生後、早急にご支援いただきましたこと大変感謝いたします。本当にありがとうございました。また何かの際には、ご支援いただくこともあると思いますが、その際はよろしく願いいたします。</p>
<p>当法人の強みである外国人支援とコミュニティづくり、セーフティネット構築の経験とノウハウを活かし、被災者のニーズに柔軟に対応して、以下の活動に取り組んでいる。①かわら版や多言語ラジオ番組の作成②「常総市水害対応NPO連絡会議」の開催③移動支援④住民主体の活動づくり⑤相談対応⑥被災者のニーズ調査⑦行政などに対する政策提言⑧救援物資の配布、ボランティア・コーディネート</p>	<p>もともと、1、2名で活動していた拠点被災し、被災後は市外から応援に来た多くの団体職員やボランティアなどに対して、多くのパソコンの用意が必要となった。上記の活動を通じた事務作業に使用させていただきたい。特に、情報発信活動についてはパソコンは不可欠である。</p>	<p>この度は当法人の活動にご理解、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。当法人は中間支援組織として、ボランティアのマッチングも行っております。ウェブサイトやSNSなどを通じて度々発信しているとおり、常総地域はマス・メディアの報道が減る一方、被災された住民はまだ大変な状況にあります。ぜひボランティアなどでも引き続き応援いただければ幸いです。</p>
<p>災害時には義援金の受付を始めとして、被災した人たちの支援にも取り組んでいます。</p>	<p>東日本大震災の際に企業からご提供いただいたパソコンを、希望があった被災地に貸し出している。ボランティアセンターでの活用が終了後返却いただき、データ等を消去の上、次の震災に備えて保管・管理をしている。災害発生時、ボランティアセンターは複数拠点を開設したり、屋外でボランティア受付作業をするなど通常所持しているパソコンだけでは円滑な運営ができない状況が多く見受けられる。しかし資金的に複数台のパソコンを一気に購入することは難しいため、パソコン貸与の要望が多く寄せられている。今回ご寄贈いただくパソコンについては、災害発生時にそうした希望のある地域にいち早く送付し、円滑なボランティア活動を側面的に支援するために使用させていただきたい。</p>	<p>東日本大震災から活用させていただいているパソコンについて、動作不安定などの状況がしばしば見受けられる。現場でストレスなくパソコンを活用いただくために、こうした機会がある際に特に状況の悪いパソコンとの入れ替え作業を行うことも、今後検討が必要だと考えている。</p>

【特別支援学校】

(鹿児島県)

パソコンの状況	使用の目的	その他
児童・生徒は現在パソコン室にある6台で学習している。	児童・生徒の学習で使用する予定。	
職員には一人1台校務用パソコンが配備されているが、故障が多くなってきており、修理依頼が増えている。児童・生徒はパソコン室のパソコンを授業等で活用している。高等部では、作業学習でパソコンを用いて名刺の作成も行っている。	作業学習で名刺を作成するために使用しているパソコンが故障し、現在は担当職員の校務パソコンをその都度持参しながら対応している。今回の寄贈パソコンを作業学習で使用したいと考えている。	
	児童生徒の学習用に使用。教職員の業務に使用。	

(栃木県)

パソコンの状況	使用の目的	その他
教諭・常勤講師に対し各1台のパソコンを貸与。	希望するパソコンは公仕さんと事務職員がスタンドアロン形式で使用することを望んでいる。	
校務処理用パソコンは教員一人一台の配備が理想であるが、教員数の増加と経年劣化による故障が相次ぎ、校務処理に支障をきたしている。そのため、授業用のパソコンの一部を校務処理用に転用するための申請及び作業中である。二学期以降、授業における使用での支障や制約が懸念される。	授業用のパソコンの約半数を校務処理用に転用作業中であること、ご寄贈いただくリース終了パソコンにはオフィスソフトが含まれないことから、当面は授業用として教室における自作教材の提示などで活用したい。校務処理用のパソコンは慢性的な台数不足の状況にあり、今後の状況次第では、オフィスソフトのインストールを含め必要な設定を行ったうえで校務処理用としての活用も検討している。	現行の学習指導要領や教育の情報化ビジョンによって、教育現場でのICTの導入が進んでいるが、厳しい財政状況の中、機材の整備は思うように進んでいない状況である。パソコンは授業での活用においても校務処理においても必要不可欠であり、最も重要な情報機器の一つであるが、高価ゆえに増備・更新において大きな制約となっている。そんな中で今回のようなリース終了パソコンの寄贈は重要な意味を持っていると思われるし、教育現場としては大変ありがたい。今後ともこのような取り組みを継続していただけるよう期待します。

(山形県)

パソコンの状況	使用の目的	その他
音声ソフト等、視覚障がい者のためのソフトウェアをインストールして使用。	ネット環境が届いていない場所で、スタンドアロン状態で使用。主に学習内容の記録を行う予定。	ありがとうございます。有効活用できるようにしていきたいと思います。
生徒が使用できるパソコンは少ない。	生徒が文書作成やインターネットを活用しての調べ学習などで使用。	いただいたパソコンは、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。
本校は小学部・中学部・高等部・分教室があり、現在、生徒の学習用パソコンは高等部に8台あるのみである。高等部は訪問教育も合わせると13学級なので、パソコンがない学級もあり、パソコンのある教室に行ったり、借りたりして使用している現状である。分教室では教科学習を行っているが、1台もなく、現在児童生徒がパソコンを使っての学習ができない状況である。	インターネットを使つての調べ学習。余暇活動時の音楽鑑賞。	生徒の学習のために有効活用させていただきたいと思います。

パソコンの状況	使用の目的	その他
職員室には持ち出し用のパソコンが4台あるが、使われていることが多い。	本校には、3Dプリンターやレーザーカッターがあり、教材等の作製にこれから利用していきたいが、制御用のパソコンがなく困っており、寄贈していただけたらとても助かる。	昨日リース終了パソコンを受け取りました。大変ありがとうございます。
	生徒用もしくは教育実習生用として利用予定。	
	ホームページ作成等。作業学習等での様々な印刷等（バザーチラシ・製品に貼るラベル印刷）。	昨日、リース終了パソコンが届きました。2台とも綺麗に整備され、快適に使用できそうです。大切に使用いたします。ありがとうございました。

(奈良県)

パソコンの状況	使用の目的	その他
児童生徒が主に使用できる、教育系ネットワークと、教職員のみが校務で使用する校務系ネットワークの2つに分けてパソコンを使用している。特に校務系のパソコンは教職員二人に1台弱の割り当てであるので、不足している状況。	成績・児童生徒についての日々の記録、校務分掌等、教職員が校務として使用する。	このような寄贈事業に感謝いたします。ありがとうございます。
	日常教科学習の一つとして。自立活動及びクラブ活動（特別活動など）。	
	寄贈分は教育用として、パソコン室及び各教室への持ち出し用として使用。（主に行事や授業において使用）	パソコン寄贈のお話、誠にありがとうございます。是非ともよろしく願いいたします。パソコンの必要数に満たない教育環境が続いており、今回の寄贈はととてもありがたいです。
教育用パソコンとしてパソコン教室にノート型パソコンが設置されているが、各教科において教室等で使用するには不足している。各教室には、旧型のデスクトップパソコンを1台ずつ設置しているが、動きも遅く、いつ故障して使用不可能になるかわからない状況である。	現在の教室のパソコンでは、調べ学習や動画教材等を活用するには限界があるため、持ち運びに便利なノートパソコンであれば、必要な教室にその都度移動させながら教材提示等がしやすくなると考えている。	
	今回、寄贈して頂けるパソコンは教育用ノートPCとして使用したいと考えている。	このような機会がありましたら、または非声をかけていただきたいと思います。ありがとうございました。
	授業で、児童・生徒が使うだけでなく、教員も使用したいと考えている。現在、授業でパソコンを使って映像等を使用する際は、県から配布されたパソコンを使用している。内勤業務で使用しているパソコンであるため、故障した場合、業務に大きな支障が出てしまう。また、児童・生徒に映像等を見せるための専用のパソコンとして使用したいと考えている。	